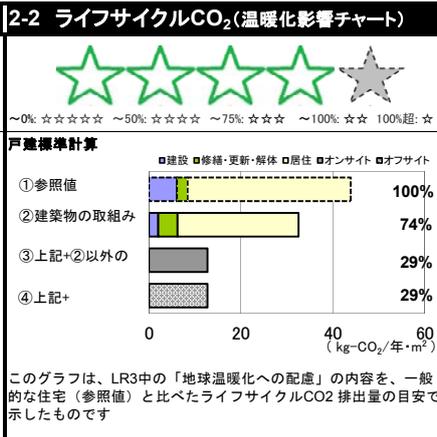
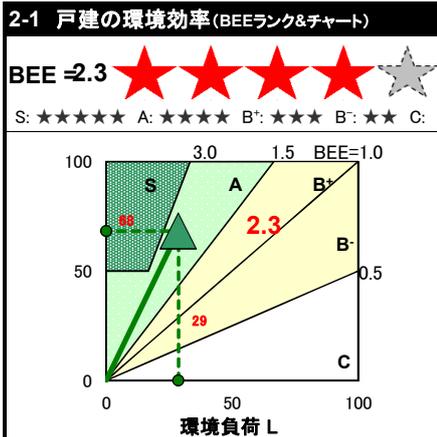
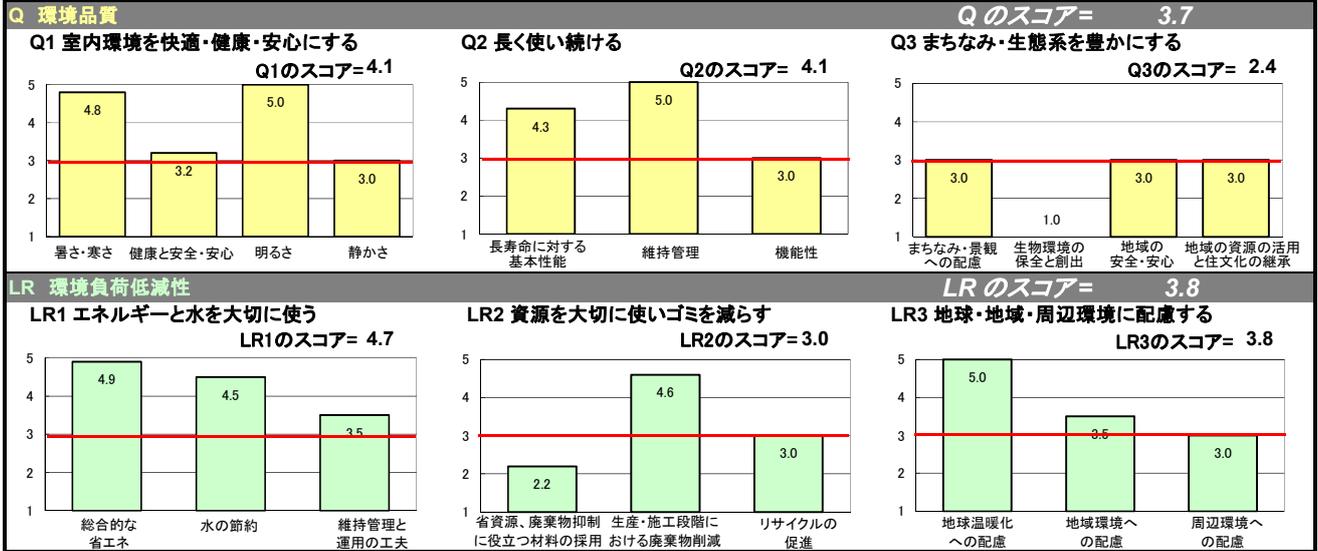




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年1月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	南区六ツ川一丁目			外構の仕様	仮
用途地域	第一種低層住居専用地域 第二種住居地域	確定	〈備考〉		
省エネルギー地域区分	6地域		—		
構造・構法	木造	確定	評価の実施日	2019年8月17日	
階数	2		作成者	中西 一真	
敷地面積	183 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2019年8月18日	
建築面積	71 m <sup>2</sup>	確定	確認者	大久保 瑞紀	
延床面積	134 m <sup>2</sup>				
世帯人数	4	確定			



### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>●交通量の多い通りから入ってすぐの2つの用途地域に跨る住宅地。●道路より敷地が上がっている為、寄棟の屋根形状と深い軒で水平ラインを強調し道路からの高さを感じさせず、通りへの圧迫感をなくす計画●1階ホール、LDKは厚みのある挽き板フロアで、肌触りよく素材感を楽しめ、居心地に配慮した設計とした</p>	
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>●省エネ基準3地域断熱仕様とアルミ樹脂複合サッシにLOW-E複層ガラス(アルゴンガス入り)採用で冷暖房負荷の軽減 ●深い庇で日射調整への配慮 ●居間、寝室、ファミリースペースにおいて南の大開口サッシより冬場の日差しを取り入れ暖房負荷の軽減を図る</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>●地盤調査に基づく安全な基礎設計 ●オリジナルのピックアップレーム工法による高い耐震性と高耐久 ●適切な床下通気と外壁通気による高い耐久性 ●給水、給湯、排水ヘッダーの採用により容易な維持管理</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>●屋根に太陽光発電を搭載 ●照明はすべて省エネ、高寿命のLEDランタイプを採用 ●省エネ基準達成率100%以上のガスコンロ採用 ●節水便器を採用</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>●構造材、羽柄材にPC材を採用し現場での廃材を大きく低減 ●住友林業株式会社、ISO14001認証取得</p>
	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>●道路との高低差がありオープン外構は困難な為土留めと門扉で囲われているが、外構、建物共に白系の明るい素材と茶系のタイルと木調部材で圧迫感をなくし豊かな街並み形成に寄与。</p>
	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>●造成を行わず従前の地形をいかした建物計画●既存の樹木を残し、従前の表土を保全し雨水の浸透を促す外構計画</p>



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

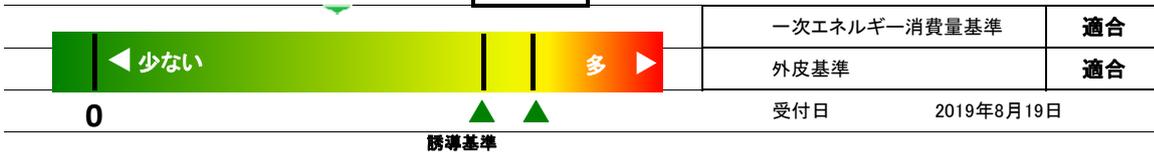
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **45** %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①太陽光発電設備の採用
- ②電気便座・多段階評価3つ星以上採用、省エネ達成率100%以上のガスコンロの採用、食器洗浄機の採用
- ③30年ロングサポートシステム体制が整備されている

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

④断熱等級4を超える水準

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤ホルムアルデヒド対策において等級3を満たしている
- ⑤適切な計画換気システムが設置されている

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥全ての居室に二方向開口又は2階寝室は通風の取組有。1階ホールLDKにおいて、チーク挽板垢フロアを採用

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑦耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)における等級3を満たしている
- ⑧劣化対策等級3を満たしている。屋根、外壁材に30年の耐用年数の仕上げ材を採用

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩外構、建物共に白系の明るい素材と茶系のタイルと木調部材で圧迫感をなくし豊かな街並み形成に寄与。
- ⑪未舗装地を52㎡程確保し降雨を浸透させる計画 想定外構面積86.29㎡の為、過半を超える。

#### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

#### エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

#### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・ コージェネレーション ・

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 31-081



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.7</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>4.1</b>
<b>1 暑さ・寒さ</b>		<b>4.8</b>	0.50	<b>4.8</b>
1.1 基本性能		<b>4.6</b>	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		<b>5.0</b>	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		<b>5.0</b>	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
<b>2 健康と安全・安心</b>		<b>3.2</b>	0.30	<b>3.2</b>
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	4.0	0.25	-
<b>3 明るさ</b>		<b>5.0</b>	0.10	<b>5.0</b>
3.1 屋光の利用		5.0	1.00	-
<b>4 静かさ</b>		<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>4.1</b>
<b>1 長寿命に対する基本性能</b>		<b>4.3</b>	0.50	<b>4.3</b>
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		<b>3.7</b>	0.20	-
1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
<b>2 維持管理</b>		<b>5.0</b>	0.25	<b>5.0</b>
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
<b>3 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>2.4</b>
<b>1 まちなみ・景観への配慮</b>	地域・まちづくり	3.0	0.30	<b>3.0</b>
10 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.30	<b>3.0</b>
<b>2 生物環境の創出</b>		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
11 生物環境の創出		1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
11 生物環境の創出		1.0	0.35	-
<b>3 地域の安全・安心</b>	防災	3.0	0.20	<b>3.0</b>
9 地域の安全・安心		3.0	0.20	<b>3.0</b>
<b>4 地域の資源の活用と住文化の継承</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>3.8</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.7</b>
<b>1 総合的な省エネ</b>		<b>4.9</b>	0.75	<b>4.9</b>
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1 建物の工夫		5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	4.0	0.10	-
2 設備の性能		4.0	0.10	-
<b>2 水の節約</b>		<b>4.5</b>	0.15	<b>4.5</b>
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
<b>3 維持管理と運用の工夫</b>		<b>3.5</b>	0.10	<b>3.5</b>
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3 維持管理と運用		3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
3 維持管理と運用		4.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>3.0</b>
<b>1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用</b>		<b>2.2</b>	0.60	<b>2.2</b>
1.1 構造躯体		<b>3.0</b>	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
<b>2 生産・施工段階における廃棄物削減</b>		<b>4.6</b>	0.30	<b>4.6</b>
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		4.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
<b>3 リサイクルの促進</b>		<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>3.8</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		<b>5.0</b>	0.33	<b>5.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>3.5</b>	0.33	<b>3.5</b>
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		4.0	0.50	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-